

第2 ロードマップに基づく取組みについて【平成29年度～令和2年度】

本ロードマップは、「福岡市バリアフリー基本計画」に定めるバリアフリー化推進の方向性や取組みの方向性に基づき、令和2年度までの目標年次に向けて取り組む事業等について、〈後期〉の平成29年度から令和2年度までに着手・検討する項目を掲げています。記載していない項目においても、バリアフリー化推進に取り組んだ事業は随時追加します。

なお、福岡市バリアフリー推進協議会において、このロードマップを基に進行管理及び取組内容等の検証等を行い、その結果に基づいて新たな取組みを講じることなどによりスパイラルアップを図っていきます。

また、整備目標や事業スケジュールは、事業の進捗状況、社会環境の変化、財政事情等により、今後、適宜見直ししていきます。

I ハード面のバリアフリー化

1 旅客施設

(1) 鉄道駅

① 鉄道駅のバリアフリー化																
整備内容	<p>1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、</p> <p>①段差の解消 エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組めます。</p> <p>②転落防止設備の整備 内方線付き点状ブロック又はホームドアの設置等によるホームからの転落防止設備の整備に取り組めます。</p> <p>③視覚障がい者誘導用ブロックの整備 公共通路など駅施設の外部から駅施設内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組めます。</p> <p>④障がい者対応型便所の設置 便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組めます。</p> <p>・対象駅数:64 (地下鉄梅林駅・西鉄名島駅が追加 ※既にバリアフリー化済み)</p>															
指標と実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>最終目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61</td> <td>61</td> <td>63</td> <td>→</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table>	実績	実績	実績	目標	最終目標	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	61	61	63	→	64
実績	実績	実績	目標	最終目標												
H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度												
61	61	63	→	64												
平成30年度の取組み【実績】	<p>①段差の解消 西鉄天神大牟田線 平尾駅上り線のEV改修を行った</p> <p>②転落防止設備の整備 JR筑肥線 九大学研都市駅上り線ホームでホームドアを整備した 西鉄貝塚線 唐の原駅・和白駅に内方線付き点状ブロックを整備した 西鉄大牟田線 福岡(天神)駅でホームドアの実証実験を開始した</p> <p>③視覚障がい者誘導用ブロックの整備 整備なし</p> <p>④障がい者対応型便所の設置 整備なし</p>															
令和元年度の取組み	<p>①段差の解消 西鉄天神大牟田線 香椎花園前駅でスロープを整備する</p> <p>②転落防止設備の整備 JR筑肥線 下山門駅・今宿駅・周船寺駅でホームドアを整備する(令和2年度完成予定) 西鉄大牟田線 福岡(天神)駅でホームドアの実証実験を行う</p> <p>③視覚障がい者誘導用ブロックの整備 整備予定なし</p> <p>④障がい者対応型便所の設置 整備予定なし</p>															
特記事項	<p>・利用者数が3千人以上となった駅については随時追加している。</p> <p>・3千人以上の駅のバリアフリー化完了を見据え、2千人以上の駅への取組み検討を進める。</p> <p>・可動式ホーム柵等については、技術的課題を克服するための製品開発動向を踏まえ、設置に向け検討を進める。</p>															
【関係機関】	○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市(交通局, 住宅都市局)															

転落防止設備の整備



JR九大学研都市駅



西鉄唐の原駅

(2) 福岡市営地下鉄全線

① 情報案内設備の改善				
整備内容	(1)鉄道駅4項目のバリアフリー化(段差解消, 転落防止, 誘導ブロックの整備, 障がい者用トイレの整備)は整備済みであり, 今後も文字情報や音サイン等の情報案内設備の改善に取り組みます。 ・対象駅数:35			
指標と実績	情報案内設備の改善	実績 H28年度 33	実績 H29年度 35	改善に努める
平成30年度の 取組み 【実績】	既に整備内容に適合した状態であり, 案内設備の維持・保全に努めた。			
令和元年度の 取組み	既に整備内容に適合した状態であり, 案内設備の維持・保全に努める。			
特記事項	・文字情報は, 空港線・箱崎線の案内サインについて, 路線全体の統一感を保ちながら令和元年度までに改良を進める。 ・音サインは, エスカレーターの新設, リニューアルに合わせて音声案内を設置する。			
【関係機関】	○福岡市交通局			

(3) バスターミナル

①		バスターミナルのバリアフリー化	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上のバスターミナルにおいて、 ①段差の解消 エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 ②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるように、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 ③障がい者対応型便所の設置 便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3		
指標と実績	適切な維持・保全	H28年度 整備済	維持・保全に努める
平成30年度の 取組み 【実績】	①段差の解消の維持・保全に努めた。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】 ②視覚障がい者誘導用ブロックの維持・保全に努めた。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】 ③障がい者対応型便所の設置の維持・保全に努めた。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】		
令和元年度の 取組み	①段差の解消の維持・保全に努める。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】 ②視覚障がい者誘導用ブロックの維持・保全に努める。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】 ③障がい者対応型便所の設置の維持・保全に努める。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】		
特記事項	各ターミナルにおいて、整備完了していることから、当面、維持・保全に努める。		
【関係機関】 ○天神バスターミナル ○博多バスターミナル ○藤崎バス乗継ターミナル(福岡市道路下水道局)			

(4) 旅客船ターミナル（福岡市有施設のみ）

平成27年3月31日をもって、市営渡船の大岳寄港が終了し、対象ターミナル数が8となっています。

① 旅客船ターミナルのバリアフリー化						
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数は3千人未満ですが、福岡市の重要な海上交通機関である旅客船ターミナルにおいて、 ①段差の解消 エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 ②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 ③障がい者対応型便所の設置 便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:8					
指標と実績	視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了したターミナル数	実績 H28年度 5	実績 H29年度 5	実績 H30年度 5	目標 R1年度 →	最終目標 R2年度 8
平成30年度の 取組み 【実績】	①段差の解消 施設の維持・保全に努めた。 ②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 施設の維持・保全に努めた。 ③障がい者対応型便所の設置 施設の維持・保全に努めた。					
令和元年度の 取組み	①段差の解消 施設の維持・保全に努める。 ②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 施設の維持・保全に努める。 ③障がい者対応型便所の設置 施設の維持・保全に努める。					
特記事項	今後とも維持・保全に努める。【港湾空港局】					
【関係機関】	福岡市港湾空港局(○国際ターミナル ○博多ふ頭第2ターミナル ○市営渡船待合所)					

(5) 航空旅客ターミナル

①		航空旅客ターミナルのバリアフリー化	
整備内容	<p>1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の航空旅客ターミナルにおいて、</p> <p>①段差の解消 エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。</p> <p>②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます</p> <p>③障がい者対応型便所の設置 便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。</p> <p>・対象ターミナル数:2</p>		
指標と実績	適切な維持・保全	H28年度 整備済	改善に努める
平成30年度の 取組み 【実績】	<p>①段差の解消</p> <p>1. 国内線旅客ターミナルの再整備において、新たに供用する到着旅客専用動線に至る搭乗橋内や乗り継ぎ時には階層移動が必要になるが、専用のエレベーターを設けるなど、移動に配慮した計画を継続して進めた。</p> <p>2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。</p> <p>②視覚障がい者誘導用ブロックの整備</p> <p>1. 国内線旅客ターミナルの再整備において、通路の形状や駐車枠を変更する際においても、他の交通機関から有人カウンターや案内所、トイレまで視覚障がい者誘導用ブロックの連続性を維持することで、安全性を常に確保した。</p> <p>2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。</p> <p>③障がい者対応型便所の設置</p> <p>1. 国内線旅客ターミナルの再整備において、新たに供用するゲートラウンジやロビーに設けるトイレには多目的トイレを併設し、また、平成30年8月に到着ロビーへ補助犬用トイレを新設した。</p> <p>2. 平成30年12月に国際線ターミナルビルの犬走りに補助犬用トイレを整備した。また、既存部分は既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。</p>		
令和元年度の 取組み	<p>①段差の解消</p> <p>1. 国内線旅客ターミナルの再整備において、新たに供用する到着旅客専用動線に至る搭乗橋内や乗り継ぎ時には階層移動が必要になるが、専用のエレベーターを設けるなど、移動に配慮した計画を継続して進めていく。(平成27年度から令和元年度まで)</p> <p>2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。</p> <p>②視覚障がい者誘導用ブロックの整備</p> <p>1. 国内線旅客ターミナルの再整備において、通路の形状や駐車枠を変更する際においても、他の交通機関から有人カウンターや案内所、トイレまで視覚障がい者誘導用ブロックの連続性を維持することで、安全性を常に確保していく。(平成27年度から令和元年度まで)</p> <p>2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。</p> <p>③障がい者対応型便所の設置</p> <p>1. 国内線旅客ターミナルの再整備において、新たに供用するゲートラウンジやロビーに設けるトイレには多目的トイレを併設するなど継続して整備を進めていく。(平成27年度から令和元年度まで)</p> <p>2. 国際線ターミナルについては、平成30年12月に犬走りに整備した補助犬用トイレを含め施設の維持・保全に努める。</p>		
特記事項	<p>・国事業の平行誘導路二重化に伴い国内線旅客ターミナルを再整備工事中(平成27年度から令和元年度まで)</p> <p>・工事期間中においても、可能な限りバリアフリーに配慮しながら再整備を進める。</p>		
【関係機関】 ○福岡空港(国内線旅客ターミナル, 国際線旅客ターミナル)			

2 車両等

(1) 乗合バス

① ノンステップバスの導入					
整備内容	車両更新時にノンステップバスの導入に取り組みます。				
指標と実績	導入されたノンステップバス数(台) (導入率 (%))	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	継続導入
		380 (約28%)	443 (約32%)	512 (約37%)	
平成30年度の 取組み 【実績】	ノンステップバス導入 【西日本鉄道／60台 , 昭和自動車／8台 , JR九州バス／2台】				
令和元年度の 取組み	ノンステップバス導入 【西日本鉄道／43台 , 昭和自動車／3台】				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・国の基本方針(令和2年度までに乗合バスの70%をノンステップバスとする)を踏まえ、引き続き、ノンステップバスの導入を促進する。 ・令和2年度までに国の移動等円滑化基準に適合する車両(低床バス)は、概ね100%となる予定。(低床バス:ワンステップバス, ノンステップバス) 				
【関係機関】 ○西鉄 ○昭和自動車 ○JR九州バス ○福岡市住宅都市局					

(2) 福岡市営地下鉄車両

① 地下鉄車両のバリアフリー化			
整備内容	優先スペースを滑りにくい床表面とします。 ・優先スペースのある車両数:178		
指標と実績	優先スペースを滑りにくい床表面とした車両数	H28年度	維持・保全に努める
		整備済	
平成30年度の 取組み 【実績】	既に整備内容に適合した状態であり、車両の維持・保全に努めた。		
令和元年度の 取組み	既に整備内容に適合した状態であり、車両の維持・保全に努める。		
特記事項			
【関係機関】 ○福岡市交通局			

(3) ユニバーサルデザインタクシー

① ユニバーサルデザインタクシーの普及促進					
整備内容	ユニバーサルデザインタクシーの普及促進のあり方を検討します。				
指標と実績	導入されたUDタクシー台数	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	継続導入
		20台	86台	229台	
平成30年度の 取組み 【実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助制度や他都市の先行事例などを参考にしながら普及促進のあり方を検討した。 ・UDタクシー導入【タクシー事業者／143台】 				
令和元年度の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・市の補助制度を創設した。 ・UDタクシー導入【タクシー事業者／200台】 				
特記事項					
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局					

3 道路

(1) 生活関連経路（重点整備地区内）

① 道路のバリアフリー化												
整備内容	重点整備地区内の生活関連施設相互を結ぶ道路(生活関連経路)のバリアフリー化に取り組みます ・整備内容:歩道の段差解消,視覚障がい者誘導用ブロック敷設など ・対象延長:43.6km											
指標と実績	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">バリアフリー化整備が完了した道路延長(km)</td> <td>実績 H28年度</td> <td>実績 H29年度</td> <td>実績 H30年度</td> <td>目標 R1年度</td> <td>最終目標 R2年度</td> </tr> <tr> <td>35.3</td> <td>36.5</td> <td>37.5</td> <td>39.4</td> <td>41.7</td> </tr> </table>	バリアフリー化整備が完了した道路延長(km)	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	目標 R1年度	最終目標 R2年度	35.3	36.5	37.5	39.4	41.7
バリアフリー化整備が完了した道路延長(km)	実績 H28年度		実績 H29年度	実績 H30年度	目標 R1年度	最終目標 R2年度						
	35.3	36.5	37.5	39.4	41.7							
平成30年度の取組み【実績】	1. 国道202号春吉橋架替事業にあわせて,バリアフリー化整備を検討した。【福岡国道事務所】 2. 生活関連経路のバリアフリー化を1.0km実施した。【福岡市道路下水道局】 3. 博多・中央ふ頭地区内の生活関連経路については,ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ,検討した。【福岡市港湾空港局】											
令和元年度の取組み	1. 国道202号春吉橋架替事業にあわせて,バリアフリー化整備を検討する。【福岡国道事務所】 2. 目標の達成に向け,整備を進めていく。【福岡市道路下水道局】 3. 博多・中央ふ頭地区内の生活関連経路については,昨年度に引き続き,ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ,検討していく。【福岡市港湾空港局】											
特記事項	・目標の達成へ向け,整備を進めて行く。【道路下水道局】 ・国道202号春吉橋架替事業にあわせて,バリアフリー化整備を予定している。【福岡国道事務所】 ・博多・中央ふ頭地区は,ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ検討する。【港湾空港局】											
【関係機関】	○福岡市(道路下水道局,住宅都市局,港湾空港局) ○福岡国道事務所											

生活関連経路 視覚障がい者誘導用ブロック設置(御供所井尻3号線)



着手前

完了

(2) 信号機（重点整備地区内）

① 信号機のバリアフリー化					
整備内容	重点整備地区内の生活関連経路における信号機のバリアフリー化に取り組みます。 ・整備内容:音響式付加信号,視覚障がい者用付加信号,高齢者感应式信号,歩車分離式信号などの設置 ・対象箇所数:196箇所				
指標	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">バリアフリー化された信号機</td> <td>H28年度</td> <td rowspan="2">機能付加</td> </tr> <tr> <td>整備済</td> </tr> </table>	バリアフリー化された信号機	H28年度	機能付加	整備済
バリアフリー化された信号機	H28年度		機能付加		
	整備済				
平成30年度の取組み【実績】	経過時間表示機能付信号機3箇所を整備した。				
令和元年度の取組み	目標整備済みであるものの,要望・必要性等を考慮し,引き続き整備を行う。				
特記事項	信号機のバリアフリー化は一定の整備は完了したが,必要に応じて機能を付加していく。				
【関係機関】	○福岡県公安委員会(福岡県警)				

(3) エスコートゾーン

① エスコートゾーンの設置						
整備内容	横断歩道における視覚障がい者の誘導対応として、必要に応じてエスコートゾーンの設置に取り組みます。					
指標と実績	<table border="1"> <tr> <td>エスコートゾーンの設置数</td> <td>実績 H28年度 6</td> <td>実績 H29年度 7</td> <td>実績 H30年度 8</td> <td>適宜設置</td> </tr> </table>	エスコートゾーンの設置数	実績 H28年度 6	実績 H29年度 7	実績 H30年度 8	適宜設置
エスコートゾーンの設置数	実績 H28年度 6	実績 H29年度 7	実績 H30年度 8	適宜設置		
平成30年度の取組み【実績】	1. 天神交差点に設置した。【福岡市道路下水道局】 2. 利用者意見を踏まえ、要望があれば設置について検討した。【福岡国道事務所】					
令和元年度の取組み	1. 天神橋口交差点, 那の津口交差点, 当仁小学校前交差点に設置を予定している。【福岡市道路下水道局】 2. 利用者意見を踏まえ、要望があれば設置について検討する。【福岡国道事務所】					
特記事項	利用者意見を踏まえ、要望があれば設置について検討する。					
【関係機関】 ○福岡市道路下水道局 ○福岡国道事務所 ○福岡県公安委員会(福岡県警)						

エスコートゾーンの設置 (天神交差点)



着手前



完了

(4) バス利用環境の改善

① 歩道のマウントアップ												
整備内容	ノンステップバス導入路線を中心として、バス停での乗降しやすさを改善するため、バス停部における歩道のマウントアップ整備に取り組みます。 ・対象箇所数: 200箇所(生活関連経路上のバス停)											
指標と実績	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">バス停部におけるマウントアップされた歩道 (重点整備地区内の生活関連経路)</td> <td>実績 H28年度</td> <td>実績 H29年度</td> <td>実績 H30年度</td> <td>目標 R1年度</td> <td>最終目標 R2年度</td> </tr> <tr> <td>162</td> <td>164</td> <td>167</td> <td>168</td> <td>180</td> </tr> </table>	バス停部におけるマウントアップされた歩道 (重点整備地区内の生活関連経路)	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	目標 R1年度	最終目標 R2年度	162	164	167	168	180
バス停部におけるマウントアップされた歩道 (重点整備地区内の生活関連経路)	実績 H28年度		実績 H29年度	実績 H30年度	目標 R1年度	最終目標 R2年度						
	162	164	167	168	180							
平成30年度の取組み【実績】	1. 目標の達成に向け、整備を進めた。【福岡市道路下水道局】 2. 対策箇所の整備について検討した。【福岡国道事務所】 3. 対象箇所の整備については、ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ、検討した。【福岡市港湾空港局】											
令和元年度の取組み	1. 目標の達成に向け、整備を進めていく。【福岡市道路下水道局】 2. 対策箇所の整備について検討する。【福岡国道事務所】 3. 対象箇所の整備については、昨年度に引き続き、ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ、検討していく。【福岡市港湾空港局】											
特記事項	・目標の達成に向け、整備を進めていく。【道路下水道局】											
【関係機関】 ○福岡市(道路下水道局, 港湾空港局) ○福岡国道事務所												

② 利用環境の改善					
整備内容	バス停の利用改善のため、上屋やベンチの設置に取り組みます。 ①路線バス事業者による設置 ②道路管理者による設置の検討 ③バス停付近に隣接する市有地・民有地へのベンチ設置促進				
指標と実績	上屋やベンチの設置数	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	適宜設置
		ベンチ設置の 考え方整理	上屋 12箇所 ベンチ33箇所	上屋 11箇所 ベンチ35箇所	
平成30年度の 取組み 【実績】	<p>①路線バス事業者による設置</p> <ol style="list-style-type: none"> 市域内のバス停において、上屋4箇所、ベンチ5箇所設置した。 【西日本鉄道(株), 昭和自動車(株)】 バス事業者からバス停下屋ベンチの設置要望はなかった。【福岡市港湾空港局】 <p>②道路管理者による設置の検討</p> <ol style="list-style-type: none"> バス停において、上屋及びベンチを7箇所設置した。【福岡市道路下水道局】 バスカット整備・上屋整備に合わせPPPを検討した。【福岡国道事務所】 バス停ベンチの設置を検討する地域団体からの問い合わせへの対応を通じて設置促進に努めた。【福岡市道路下水道局】 <p>③バス停付近に隣接する市有地・民有地へのベンチ設置促進</p> <p>ベンチプロジェクトとして、バス停付近の市有地13箇所へベンチを設置するとともに、バス停付近の民有地へ設置されたベンチ10箇所に補助金を交付した。【福岡市保健福祉局】</p>				
令和元年度の 取組み	<p>①路線バス事業者による設置</p> <ol style="list-style-type: none"> 公共交通の乗継箇所となるバス停(鉄道⇒バス, バス⇒バス)を中心に、引き続き、バス事業者に対して、バス停下屋ベンチの設置を働きかけていく。【住宅都市局】 バス事業者からバス停下屋ベンチの設置の要望があった場合は、福岡市の設置基準に合致しているか審査するとともに、ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ検討する。【福岡市港湾空港局】 <p>②道路管理者による設置の検討</p> <ol style="list-style-type: none"> 福岡市の設置基準に合致し、歩道の有効幅員が確保されるバス停において、上屋及びベンチの設置を推進していく。【福岡市道路下水道局】 バスカット整備・上屋整備に合わせPPPを検討する。【福岡国道事務所】 バス停ベンチ設置に取り組む地域団体からの問い合わせへの対応を通じて設置促進に努める。【福岡市道路下水道局】 <p>③バス停付近に隣接する市有地・民有地へのベンチ設置促進</p> <p>ベンチプロジェクトとして、バス停付近の市有地へのベンチ設置を進めるとともに、バス停付近の民有地へベンチ購入費補助金の活用を働きかける。【福岡市保健福祉局】</p>				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> バス停下屋ベンチの設置については、バス事業者による利用者サービスを基本としつつ、道路管理者においても、バリアフリー重点整備地区内の生活関連経路上などにおいて、上屋およびベンチの設置を推進していく。【道路下水道局】 バスカット整備・上屋整備に合わせPPPを検討している。【福岡国道事務所】 ※PPP: 官が整備した上屋を民間事業者が広告収入で維持管理する新たな取り組み バス停付近で、歩道に十分な幅員がない場所に隣接する市有地とバス停付近の民有地にベンチ設置を促進する。【保健福祉局】 				
【関係機関】	○福岡市(道路下水道局, 港湾空港局, 住宅都市局, 保健福祉局) ○福岡国道事務所				

上屋ベンチ設置(長浜一丁目)



着手前



完了

4 公園

○福岡市が設置・管理する公園

① 園路及び広場のバリアフリー化						
整備内容	公園の新規及び再整備等にあわせて、園路及び広場のバリアフリー化整備に取り組みます。 ・整備内容:有効幅員の確保, 段差の解消など ・対象公園数:1,630公園(すべての公園数)					
指標と実績	園路及び広場をバリアフリー化した公園数	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	目標 R1年度	最終目標 R2年度
		99	106	112	138	164
平成30年度の 取組み 【実績】	公園の新設及び再整備に合わせ、バリアフリーの基準に合致した園路・広場の整備を6公園で実施した。					
令和元年度の 取組み	引き続き、公園の新設及び再整備等にあわせて、バリアフリーの基準に合致した園路・広場の整備を進める。					
特記事項	-					
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局						

大井中央公園のバリアフリー化



着手前



完了

② 駐車場のバリアフリー化						
整備内容	駐車場がある場合には駐車場のバリアフリー化整備に取り組みます。 ・整備内容:車いす対応駐車スペースの適正台数の確保など ・対象公園数:31公園(駐車場がある公園数)					
指標と実績	駐車場をバリアフリー化した公園数	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	目標 R1年度	最終目標 R2年度
		20	30	31	維持・保全	31
平成30年度の 取組み 【実績】	駐車場バリアフリー化を1公園で実施した。					
令和元年度の 取組み	バリアフリー化が完了した駐車場について、維持・保全を行っていく。					
特記事項	-					
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局						

雁の巣レクリエーションセンター駐車場バリアフリー化



着手前



完了

③ 障がい者対応型便所の設置						
整備内容	トイレの設置が必要な公園については、公園の新規及び再整備等にあわせて、障がい者対応型便所の設置を進めます。 ・整備内容:障がい者対応型便所の整備。 対象公園数:358公園(トイレを設置している公園数)					
指標と実績	障がい者対応型便所を整備した公園数	実績	実績	実績	目標	最終目標
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		60	63	66	93	120
平成30年度の 取組み 【実績】	公園の再整備等に合わせ、3公園で障がい者対応型便所を整備した。					
令和元年度の 取組み	引き続き、公園の新設及び再整備等にあわせて、障がい者対応型便所の整備を進める。					
特記事項	-					
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局						

大井公園トイレのバリアフリー化



着手前



完了

Ⅱ ソフト面のバリアフリー化

1 「心のバリアフリー」の推進

(1) 啓発・育成・実践

バリアフリー化促進にかかる市民の理解と協力を求める「心のバリアフリー」を全市的に発展させます。

[啓発]

① 幅広い市民を対象とした取組み				
取組内容	障がい者週間などの既存行事やバリアフリー表彰などに合わせたシンポジウム等の開催を検討します。			
指標と実績	<table border="1"> <tr> <td>幅広い市民を対象とした啓発</td> <td>H28年度 実施</td> <td>継続</td> </tr> </table>	幅広い市民を対象とした啓発	H28年度 実施	継続
幅広い市民を対象とした啓発	H28年度 実施	継続		
平成30年度の取組み【実績】	<p>前年に引き続き「障がい者週間記念の集い」を開催した。</p> <p>【主なイベント内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念公演, 障がい者団体のステージイベントを実施した。 ・WeLove天神主催の「クリスマスマーケット2018」と連携し, 障がい者施設商品の販売などを実施した。 			
令和元年度の取組み	<p>前年に引き続き「障がい者週間記念の集い」を開催する。</p> <p>【主なイベント内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念公演, 障がい者団体のステージイベントを実施する。 ・WeLove天神主催の「クリスマスマーケット2019」と連携し, 障がい者施設商品の販売などを実施する。 			
特記事項	障がい者週間にあわせて「障がい者週間記念の集い」を開催する。			
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局				

障がい者週間記念の集い



[啓発]

② 啓発ツール等の作成				
取組内容	啓発行事や出前講座, 研修会などにおいて活用する啓発ツール等の作成に取り組みます。			
指標と実績	<table border="1"> <tr> <td>啓発ツール等の作成</td> <td>H28年度 活用</td> <td>継続</td> </tr> </table>	啓発ツール等の作成	H28年度 活用	継続
啓発ツール等の作成	H28年度 活用	継続		
平成30年度の取組み【実績】	出前講座等の機会を捉え, 広報誌「心のバリアフリー」の配付・啓発を行った。			
令和元年度の取組み	出前講座等の機会を捉え, 広報誌「心のバリアフリー」の配付・啓発を行う。			
特記事項	作成したツールを出前講座などあらゆる機会を捉えて活用を進める。			
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局				

〔育成〕

①		出前講座など	
取組内容	地域団体や民間企業, 児童・生徒など, 対象者に応じた出前講座や教育を進めます。		
指標と実績	出前講座や教育の実施	H28年度 実施	継続
平成30年度の取組み【実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校にてバリアフリー教室を5回開催。 ・行政機関や民間団体の研修会において, バリアフリーのまちづくりに関する出前講座を6回実施。 		
令和元年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校にてバリアフリー教室を開催予定。 ・行政機関や民間団体の研修会において, バリアフリーのまちづくりに関する出前講座を実施している。 		
特記事項	子ども向けの講座の充実や、実施にあたっては様々な関係機関と連携して取り組む。		
【関係機関】	○福岡市(保健福祉局, 教育委員会)		

バリアフリー教室



〔育成〕

②		行政職員研修	
取組内容	新規採用職員や公共施設整備の担当職員に対するバリアフリー体験研修, 公共施設整備の担当職員向け技術研修の実施に取り組みます。		
指標と実績	行政職員研修の実施	H28年度 実施	継続
平成30年度の取組み【実績】	福岡市職員を対象にした技術研修「ユニバーサルなまちづくり(みんなにやさしい施設整備を進めるために)」を実施した(参加者31名)。		
令和元年度の取組み	福岡市職員を対象にした技術研修「ユニバーサルなまちづくり(みんなにやさしい施設整備を進めるために)」を実施した(参加者28名)。		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで実施している研修を引き続き実施する。 ・障がい者施設への体験研修など障がいへの理解をより深める研修の検討 		
【関係機関】	○福岡市保健福祉局		

〔実践〕

① 「バリアフリーマップ」の更新・調査	
取組内容	市民参加の新たな手法による「福岡市バリアフリーマップ」の更新，調査に取り組みます。
指標と実績	市民参加による「バリアフリーマップ」の更新・調査
	H28年度 実施
	継続
平成30年度の取組み【実績】	バリアフリーマップの掲載施設を3箇所追加，2箇所更新し，合計966箇所の施設のバリアフリー情報を掲載した。
令和元年度の取組み	バリアフリーマップに掲載している施設情報の追加・更新を，引き続き進める。
特記事項	-
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局	

〔実践〕

② 共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくり	
取組内容	利用者の声を施設設置管理者に伝えるとともに，意見交換等により共働でバリアフリー推進を図る仕組みの構築や「まち歩き」に取り組みます。
指標と実績	共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくり(まち歩き)
	H28年度 試行
	H29年度 周知
	H30年度 実施
	継続
平成30年度の取組み【実績】	バリアフリーのまちづくりサポーター制度を周知，活用の働きかけをし，1件活用した。
令和元年度の取組み	バリアフリーのまちづくりサポーター制度を周知，活用の働きかけをする。
特記事項	-
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局	

(2) バリアフリー情報発信

ハード整備やソフトの取組み成果を積極的に発信し、市民の社会参加を促進します。

①	バリアフリー表彰制度		
取組内容	バリアフリーの推進に関して功績のあった者に対する表彰を行い、優れた取組みの普及、啓発の促進に取り組みます。(「ユニバーサル都市・福岡」の推進との連携)		
指標と実績	バリアフリー表彰制度の実施	H28年度 実施	継続
平成30年度の取組み【実績】	ユニバーサル都市・福岡賞において、市民や団体、事業者等のユニバーサルデザインに基づく優れた取組みや製品、そのアイデア等について表彰を行った。		
令和元年度の取組み	ユニバーサル都市・福岡賞において、市民や団体、事業者等のユニバーサルデザインに基づく優れた取組みや製品、そのアイデア等について表彰を行う。		
特記事項	市民や地域、企業がユニバーサルデザインに基づく優れた活動や製品開発等、またはそれらのアイデア(バリアフリー優良事例を含む)について表彰を行う。		
【関係機関】	○福岡市(総務企画局, 保健福祉局)		

ユニバーサル都市福岡賞



②	バリアフリー優良事例等の収集と公表		
取組内容	バリアフリー表彰制度と併せて、優れた取組みや的確な工夫、アイデアなどの優良事例を収集し、情報発信に取り組みます。		
指標と実績	バリアフリー優良事例等の収集と公表	H28年度 実施	継続
平成30年度の取組み【実績】	ユニバーサル都市・福岡賞の受賞者や受賞内容をユニバーサル都市・福岡のホームページに掲載した。		
令和元年度の取組み	ユニバーサル都市・福岡賞の受賞者や受賞内容をユニバーサル都市・福岡のホームページに掲載する。		
特記事項	優れた取組みや的確な工夫、アイデアなどの優良事例をフェイスブックや市ホームページに掲載する。		
【関係機関】	○福岡市(総務企画局, 保健福祉局)		

③ 進捗状況の公表	
取組内容	福岡市バリアフリー基本計画の進捗状況の公表を行います。
指標と実績	バリアフリー基本計画の進捗状況の公表 H28年度 公表 継続
平成30年度の取組み【実績】	ロードマップに基づく平成29年度の取組実績および平成30年度の取組について市ホームページに掲載した。
令和元年度の取組み	ロードマップに基づく平成30年度の取組実績および令和元年度の取組について市ホームページに掲載予定。
特記事項	-
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局	

2 移動支援の推進

既存のハード面を補完し、移動を支援していくソフト面のバリアフリー化に取り組みます。

① わかりやすい案内表示等の研究	
取組内容	主要な駅等を中心に商業施設や公園等の生活関連施設を含むエリア等を対象に、歩道や信号機のバリアフリー化にも合わせて、全ての移動者に分かりやすいサインや案内表示等のあり方等の研究に取り組みます。(施設整備マニュアル改訂と連携)
指標と実績	わかりやすい案内表示等の研究 H28年度 活用 継続
平成30年度の取組み【実績】	「施設整備マニュアル」を活用し、わかりやすい案内表示を行うよう取り組んだ。
令和元年度の取組み	「施設整備マニュアル」を活用し、わかりやすい案内表示を行うよう取り組む。
特記事項	「施設整備マニュアル2014」を活用し、引き続きわかりやすい案内表示に取り組む。
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局	

② 「バリアフリーマップ」の更新・調査【再掲】	
取組内容	市民参加の新たな手法による「福岡市バリアフリーマップ」の更新、調査に取り組みます。
指標と実績	市民参加による「バリアフリーマップ」の更新・調査 H28年度 実施 継続
1 「心のバリアフリー」の推進(再掲)	
特記事項	バリアフリーマップに掲載している施設情報の追加・更新を、引き続き進める。
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局	

Ⅲ バリアフリー化の支援と進行管理

1 スパイラルアップ

バリアフリー化の段階的・継続的な発展を図ります。

①	施設整備マニュアルの改訂		
取組内容	福岡市バリアフリー基本計画に定めるバリアフリー推進の方向性や社会情勢の変化への対応なども踏まえ、福岡市まちづくり条例施行規則に定める整備基準等をまとめた『施設整備マニュアル』の改訂に取り組みます。		
指標と実績	施設整備マニュアルの改訂	H28年度 運用	継続
特記事項	・「施設整備マニュアル2014」を引き続き運用する。 ・国のバリアフリーに関するガイドライン改正を踏まえ、平成30年度以降、現行の施設整備マニュアル2014の改訂に取り組む。		
【関係機関】	○福岡市保健福祉局		